

スペイン語アルファベット表に見る語彙

外国語学部スペイン学科 堀田英夫

1. アルファベット表

幼児や児童が、文字を覚えるのに、絵と結びつけて覚える方法がある。文字が絵から派生したことを考えると、それは一つの有効な手段と考えられる。語の頭文字とその語の意味を表す絵からなるポスター形式の文字表を壁に貼り、日常的に幼児の眼に触れさせることによって、知っている語の発音と文字を結びつけ文字を覚えさせる教材は、多くの言語圏に存在する。2008年10月28日から11月5日まで、「新大ファンファーレ」の期間、高等言語教育研究所主催で行った「世界のあいうえお表の展示」では、英語などのラテン文字の系統のみならず、インド文字の系統がインド、タイ、ラオスから、それに漢字、ひらがな、モンゴル文字、ハングルが集まり展示された。

ポスター形式の他にカード形式や積み木のひとつひとつに文字と絵を書いたものもある。文字とともに掲げられた絵は、幼児になじみ深い生き物や道具が選ばれていて、その言語が用いられる土地の文化や自然など風物を反映しているものもあるのではないだろうか。また子供たちになじみのある語として選ばれたものなので、その言語の基礎語彙の一種とも考えられる。

本稿は、スペイン語アルファベットと絵が結びつけられた幼児用の教材のいくつかを、文字と結びつけて掲げられた語について考察するものである。

2. アルゼンチン製スペイン語アルファベット表

上記の企画で展示されたスペイン語アルファベット表は、糸魚川美樹氏が2008年9月にスペイン国バルセローナ市で購入したものである¹。表の右下に“©MUNDO CARTOGRAFICO 2003 Editado por MUNDO CARTOGRAFICO autora: Lic. Normas S. De Paola INDUSTRIA ARGENTINA” とある。和訳すれば、「©ムンド・カルトグラフィコ(地図作成世界社) 2003、ムンド・カルトグラフィコ編、ノルマス・S・デ・パオラ作、アルゼンチン製」となる。ムンド・カルトグラフィコ(地図作成世界社)は、アルゼンチン国ブエノスアイレス市に存在する地図の製作・販売会社である²。

以下に、各文字と文字に添えられた語の一覧表を掲げる。

文字	語	絵
A	avión	飛行機
B	bicicleta	自転車
C	casco	ヘルメット
CH	chocolate	チョコレート
D	dados	さいころ(二つ)
E	escalera	脚立

¹ アルファベット表の入手と本稿での考察に利用させていただいたことに対し糸魚川美樹氏に感謝します。

² <http://www.mundocartografico.com/index.html>(参照日 2009年1月29日)

F	fresa	イチゴ(複数)
G	guitarra	ギター
H	helicóptero	ヘリコプター
I	impresora	プリンター
J	judía	インゲン豆
K	kiwi	キーウィー
L	libro	本
LL	llave	鍵
M	motocicleta	オートバイ
N	naranja	オレンジ
Ñ	ñu	ヌー
O	órgano	オルガン
P	pizza	ピザ
Q	queso	チーズ
R	reloj	腕時計
S	sartén	フライパン
T	tijeras	はさみ
U	uva	ブドウ
V	velero	ヨット
W	walkman	ウォークマン
X	xilófono	木琴
Y	yogur	ヨーグルト
Z	zanahoria	ニンジン(複数)

文字 E に *escalera* の語と脚立の絵が添えられている。日本語では、「階段」、「はしご」、「脚立」を区別しているが、スペイン語では、*escalera* となる。区別するときには、「はしご」と「脚立」が *escalera de mano* あるいは *escalera portátil*、さらに「はしご」と「脚立」を区別するためには、「脚立」を *escalera de tijera* あるいは *escalera doble* といった言い方で区別することになる。「escalera=階段」³とのみ学習した場合には、*escalera* に脚立の絵が添えられているのを見ると違和感を覚えるのではないだろうか。

この表に掲げられていて、スペイン語語彙学習のための『iスペ単!』に掲載されていない語は、*kiwi*, *ñu*, *pizza*, *tijeras*, *velero* (*yate*「ヨット」と「ヨット競技」の意味の *vela*「ヨット、帆」は掲載がある。), *walkman* の 6 語で、その内 4 語が外来語である。

絵にモノが複数個描かれているのが、D の *dados*(さいころ)、F の *fresa*(イチゴ)、Z の *zanahoria*(ニンジン)である。これらのうちスペイン語の語形が複数なのは、*dados* のみである。複数形で「さいころ遊び」として使われる語なので複数形になっているのかもしれない。

CHとLLも他の文字と同じ扱いを受けている。この二つは、1994年のスペイン語アカデミア連合(*Asociación de las Academias de la Lengua Española*)総会での決定により、辞書の配列でそれぞれC、H、Lに分けて配列されることになり、その後の文法書や入門書の多くでは、一文字の扱いを受けていない。文字の発音を考慮した教育的配慮というよりは、伝統継承という点が大きいのではないかと考えられる。文字の発音ということを考慮するのであれば、Cの/k/と/s/(あるいは/θ/)、Gの/g/と/x/を考慮する必要があるからである。

³ 『iスペ単!』には、*escalera* は「階段」と、*escalera automática*[*mecánica*]の「エスカレーター」のみで、「はしご」と「脚立」は掲載されていない。

アルゼンチン製ではあるが、語の地域差は見られない。アルゼンチンには、イチゴを表す語に **frutilla** があるが、この表では、スペイン語圏広くに通用する **fresa** の語が書かれている。スペインで販売されていることが理解できる。

2. メキシコ製スペイン語アルファベットカード

メキシコ国グアナファト市で 2009 年 1 月に筆者が購入したメキシコ製アルファベットカードを見る。54 枚のカードと、9 枚の表でセットとなっていて、表は、配列がランダムな 4 枚×4 枚 = 16 枚分のカードと同じ印刷がしてある。包装用の紙片に、作者 **José de Jesús(sic) Galaviz León** とあり、**PRODIDAC** という会社名と思われる記載とメキシコ連邦区の住所が記載されている。1 枚のカードに、**Lotería de: ABECEDARIO ESPAÑOL-INGLES**(スペイン語英語アルファベット表ビンゴ/くじ)とある。カードと表を使ってビンゴ・ゲームをするようになっていると思われる。アルファベットの大文字と小文字で別々のカードとなっていて、それぞれのカードに文字と通し番号、スペイン語の語とそれを表す絵、さらにアルファベットの英語による名前が、スペイン語表記に準じた表記で示されている。英語アルファベットにも慣れ親しむことができるという販売促進の意図が感ぜられる。以下、掲載のスペイン語単語と絵について考察する。

	大文字	絵		小文字	絵
A	avión	飛行機	a	ángel	天使
B	banco	丸椅子(背もたれなし)	b	ballena	クジラ
C	caracol	巻き貝	c	casa	家
D	dinosaurio	ディノサウルス(恐竜)	d	durazno	桃
E	elefante	象	e	estufa	オーブン&コンロ
F	foca	アザラシ	f	foco	電球
G	girasol	ヒマワリ	g	gusano	青虫
H	hongo	キノコ	h	huevo	卵
I	insecto	昆虫	i	igloo (sic)	イグルー
J	juguete	熊のぬいぐるみ	j	jarrón	壺
K	koala	コアラ	k	kiosko (sic)	(公園の)あずまや
L	lámpara	電気スタンド	l	lupa	虫眼鏡
M	muñeca	(女の子の)人形	m	mano	手
N	niño	子ども	n	nopal	サボテン
Ñ	--		ñ	--	
O	oso	クマ	o	oreja	耳(たぶ)
P	pato	アヒル	p	paleta	棒つきキャンディー
Q	queso	チーズ	q	queso	チーズ
R	reloj	目覚まし時計	r	rueda	車輪
S	silla	椅子(背もたれ付き)	s	sapo	カエル
T	tortuga	カメ	t	tren	列車(新幹線の絵)
U	uña	爪	u	uva	ブドウ
V	vaca	乳牛	v	voleivol (sic)	バレーボール
W	--		w	--	
X	--		x	--	
Y	yunke (sic)	金敷、金床	y	yo-yo	ヨーヨー

Z	zorro	キツネ	z	zanahoria	ニンジン
---	-------	-----	---	-----------	------

横線を引いた Ñ, W, X の文字のカードには語と絵が書かれていない。文字と英語文字名のみの記載である。もちろん Ñ には英語文字名もない。

いくつかの語の綴りが、スペイン語正書法にあわない表記がされている。アカデミア辞書(22 版、web 参照)では、*iglú*(イグルー)、*quiosco* あるいは *kiosco*(公園のあずまや)、*voleibol*(バレーボール)、*yunque*(金敷、金床)がアカデミア辞書に掲載されている語形であるが、カードにはそれぞれ、*igloo*、*kiosko*、*voleivol*、*yunke* と表記されている。これらのカードは、スペイン語正書法の教育用には好ましくない。

メキシコ製であるがゆえの語の選択がいくつかある(図参照)。文字 B の *banco* に背もたれのない丸椅子の絵は、スペインのスペイン語からは奇異に感じさせる。スペインで、*banco* は「ベンチ、長椅子」で、丸椅子は *taburete* である。西和辞典の『クラウン西和』(2006 年第 3 刷)、『プエルタ』(2006 年初版)、『西和中 2 版』(2007 年第 1 刷)とも *banco* に、この語義の記述がない。CLAVE(3a edición, 1999)には、“9. En zonas del español meridional, *banqueta* o *taburete*”(南のスペイン語(=アンダルシアと中南米)で、スツールあるいは丸椅子)とある。文字 d の *durazno*「桃」は、中南米の語形であり、*melocotón* が一般的である(『クラウン和西』:桃)。文字 e の *estufa* には、オープン&コンロの絵が添えられている。この語はスペイン等でストーブを意味する。『プエルタ』(2006 年初版)には、「5. (中南米)コンロ、レンジ(=*cocina*)」と記述がある。文字 f に電球の絵と *foco* の語があるのもメキシコならではの。スペインなら電球は *bombilla* である(『クラウン和西』:電球)。文字 n の *nopal*(サボテン)はメキシコで食用なので、*cacto* や *cactus* よりもなじみのある語として選ばれていると考えられる。文字 p の *paleta* は、『プエルタ』に「9. (カリブ)ペロペロキャンディー」、『クラウン西和』に「7. (中米)棒つきキャンディー」の記述がある。スペインなら、*caramelo* あるいは商品名の *chupa chups* であろう。

『i スペ単!』に掲載されていない語は、*banco*(「銀行」の訳では掲載されている)、*caracol*、*dinosaurio*、*estufa*、*foca*、*foco*、*gusano*、*hongo*、*insecto*、*igloo/iglú*、*jarrón*、*lupa*、*muñeca*(「手首」の訳では掲載されていて、*muñeco*「人形」もある)、*nopal*、*paleta*、*sapo*、*yunke/yunque*、*yo-yo* の 18 語である。

3. まとめ

アルファベット表に掲げられた語は、子供になじみのある語として選ばれたもので、その言語の基礎語彙の一種である。外国語として学ぶ場合の基礎語彙と異なるものではあるが、学習がある程度進んだ段階で、その言語の使用目的によっては、覚えておく必要のある語であろう。例えばその言語圏の子供と関わるような場合には、必要になってくる語彙である。

語と絵が結びつけられているので、日常的な語のその地域での意味を知るには良い資料となりうる。今後も、スペイン語圏各地で作成されたアルファベット表を収集し、さらに考察していきたい。

引用文献

上田博人他編『プエルタ 新スペイン語辞典』研究社(2006 年初版)
 スペイン語教育研究会編『i スペ単! 頻度で選んだスペイン語単語集(練習問題つき)』(朝日出版社、2006)

高垣敏博監修『西和中辞典 第2版』小学館(2007年第1刷)
原誠他編『クラウン西和辞典』三省堂(2006年第3刷)
Rubio, Carlos 他編『クラウン和西辞典』三省堂(2005年第2刷)
Maldonado González, Concepción et al.(1999) *CLAVE Diccionario de uso del español actual* (3a edición), Ediciones SM, Madrid.
REAL ACADEMIA ESPAÑOLA(2001), *DICCIONARIO DE LA LENGUA ESPAÑOLA - Vigésima segunda edición* (<http://www.rae.es/rae.html>
参照日 2009年1月29日、30日)